

JCHO くるめニュース

しほとめき

No.39
2025
新春号



「ほとめき」とは筑後の方言で「おもてなし」という意味です。

書：名誉院長 田中 眞紀



「大善寺 玉垂宮 鬼夜」 撮影者：老健 介護支援専門員 山田 孝典

当院の理念

地域住民の多様なニーズに応え、安全・安心で心の通う医療を提供する

方針

1. 利用者の尊厳を守り、地域での包括的な医療支援やサービスに努める
2. 地域に密着した公共性の高い医療を目指す
 - ① 地域医療機関との連携を強化する
 - ② 地域に特色のある医療を担う
3. 質の高い医療を提供するために資質の向上に努める



ジェイコー 独立行政法人 地域医療機能推進機構

JCHO 久留米総合病院

新年のご挨拶

JCHO 久留米総合病院 院長 牛嶋公生



新年あけましておめでとうございます。皆様おすこやかに新年をお迎えになったことと存じます。私こと田中名誉院長の後任として、昨年4月より院長職を拝命いたしました。

過去数年にわたり全世界を混乱に陥れた COVID19 が、ようやく通常の感染症の取り扱いとなり、以前のように対面での交流ができる日常が戻ってまいりました。それでも高齢者や持病をお持ちの方は依然としてご注意下さるようお願いいたします。

昨年はまたしても自然災害にみまわれた年でした。1月の能登半島地震では、ライフラインの途絶、病院の機能不全などにより避難所生活で十分な医療が受けられない住民の方々のために当院からも職員が現地での医療支援を行いました。久留米市近郊でも毎年のように水害が起っています。常時緊急事態への備えは必要です。当院でも万一の事態に備えて緊急時の災害訓練を行いました。

病院の体制としては、昨年麻酔科の常勤医師を迎えることができ、より安心安全な外科治療が提供されています。また、24時間、365日救急医療体制を堅持し、安全・安心の地域医療を支えています。

いよいよ医療DX化の本格導入が進んでまいりました。電子処方箋やマイナ保険証などが一般化すれば、複数施設の患者さんの医療情報が共有されることにより、より安全に効率的に医療が受けられます。国策に応じた医療DXの導入にも積極的に取り組んでまいります。

本年も地域の医療機関と連携して、皆さまのより一層の健康増進に職員一同邁進してまいります。そして、皆さまにとってより幸せな一年になりますようお願いしております。本年もどうぞ久留米総合病院をよろしく申し上げます。

2024年11月27日（水）地域連携医療機関の先生方をお招きして盛大に開催しました。

地域連絡協議会は地域医療、地域包括ケアの要として超高齢社会における地域住民の多様なニーズに応え、地域住民の実情に応じた運営に努めることを目的に定期的を開催しております。

今回は院長牛嶋より就任のご挨拶と「病院の現況と将来展望」について、また副院長山口、統括診療部長北里による乳腺外科、呼吸器・感染症内科の診療紹介を行いました。

多くの地域医療従事者の皆様、ご参加衷心より御礼を申し上げます。



（萃香園にて）

市民講座の案内

乳がん診療に関する市民講座

～悩むよね！乳がんホルモン療法・抗がん剤・更年期の体重増加を考える～

開催日	5月24日（土）
開場	12：30～
開演	13：00～15：00
参加費	無料
対象者	乳がんの患者様、ご家族、乳がんに関心のある方



詳細は
当院HPにて
ご覧ください。

内分泌・代謝・糖尿病内科

内分泌・代謝・糖尿病内科 吉信 聡子

私達が担当する疾患は、糖尿病、脂質異常症、肥満症、甲状腺疾患、副甲状腺疾患、副腎疾患など多岐にわたります。その中で頻度が多い疾患をご紹介します。

<糖尿病>

血糖値（血液中のブドウ糖濃度）が高い状態が続く病気です。食事で摂取したブドウ糖は膵臓で作られたインスリンというホルモンにより、細胞に取り込まれ蓄えられて、必要時にエネルギーとして利用されます。

何らかの理由でインスリンの分泌が低下したり、効きが悪くなると、血液中のブドウ糖が増えすぎてしまいます。この状態が長く続くと、血管がダメージ受け合併症が発症・進行します。

糖尿病では自覚症状がなくても、深刻な合併症が進行していることがあるので注意が必要です。早めの診断と治療が今後を大きく左右します。

まずは健診を受けましょう。異常があれば、すぐに受診しましょう。



(日本糖尿病協会のHPより抜粋)

\ 健診結果をみてみよう /

	空腹時血糖値	HbA1c
正常型	~99	~5.5
正常高型	100~109	5.6~5.9
境界型	110~125	6.0~6.4
糖尿病型	126~	6.5~

**糖尿病が強く疑われます。
すぐに受診しましょう！**

早めに生活習慣を改善しましょう

将来、糖尿病を発症するリスクが高い。
75g 経口ブドウ糖負荷試験を推奨

糖尿病予備軍

糖尿病の疑いが否定できません。
75g 経口ブドウ糖負荷試験を強く推奨

<甲状腺疾患>

甲状腺は、のどぼとけの下にある蝶々のような形のホルモンを出す臓器です。

甲状腺ホルモンは代謝を活発にする働きがあります。

甲状腺機能が高まると、頻脈、動悸、発汗、体重減少（代表的な疾患:バセドウ病）

甲状腺機能が低下すると、冷え性、便秘、むくみ、気力低下（代表的な疾患:橋本病）

どちらの場合も治療法があります。

甲状腺機能異常は全身に様々な症状を引き起こしますが、特徴的な症状に乏しく、更年期障害やうつ病などと診断されてしまっていることも多いです。

このような症状がある時は、念のため甲状腺機能を評価することをおすすめします。



(日本内分泌学会のHPより抜粋)

私達は、医師、看護師、薬剤師、栄養士、臨床検査技師、理学療法士、ソーシャルワーカーなど多職種で連携して、患者さんの診療、教育、療養指導を行っています。

人はそれぞれに生き方、考え方、目標、生活環境、経済状況が異なります。

外来では待ち時間が長くなることが多く大変申し訳ありませんが、患者さんの話をよく聞き、たくさんお話しして、患者さん1人ひとりに寄り添った診療を目指しています。また、近隣の医療機関の先生方とも協力して、みなさんの健康を守りたいと思います。

今後ともよろしく願いいたします。



<糖尿病患者会「八重つつじの会」のご案内>



糖尿病患者とその家族、医師、看護師、栄養士などの医療スタッフで作られています。患者さん同士や医療スタッフとの交流を通して、糖尿病の理解を深め、よりよい生活を送れるように支援しています。

近年はコロナ渦のため活動できていませんでしたが、今後交流会から活動を再開予定です。患者さんと医療スタッフとで充実した時間を過ごせるよう検討中です。随時、会員を募集しており、入会申込書はA外来に用意しています。

多くの皆様のご入会をお待ちしています。

第9回 JCHO 学会

「第9回 JCHO 地域医療総合医学学会に参加して」

(会期：2024.11.29-30/ 会場：仙台国際センター)

副院長 / 外科部長 / 医療安全管理責任者 亀井英樹

銀杏並木が彩る晩秋の仙台市で開催された第9回 JCHO 地域医療総合医学学会に参加して参りました。わたくしは、JCHO/かえるチャレンジ！業務改善の取り組みに係る発表・最優秀賞審査のセッションで「プレアボイドを用いた医師インシデント報告率向上に向けた取り組み」をチームの代表として発表しました。これは、薬剤部によるプレアボイド報告を Level0 のインシデント報告として医療安全部から医局に促し、医師インシデント報告率を増加させる取り組みです。

このセッションは、優秀演題に選出された5施設（JCHO 久留米総合病院、九州病院、大和郡山病院、三島総合病院、仙台病院）の中から最優秀賞を選ぶ企画です。メイン会場で山本理事長を始めとする審査員の理事の方々が鎮座し多くの聴衆がいる中、トップバッターでの発表は少々緊張しました。その結果は、満員の懇親会会場に場所を移して開催され、最優秀賞は地元開催の JCHO 仙台病院が選出されましたが当施設も優秀賞として表彰されました。この賞は個人に与えられたものでなく、JCHO 久留米総合病院チームとして頂いたものです。関係の皆様のご協力の賜物ですので、この場をお借りしまして感謝申し上げます。また、今回の受賞を通じて、JCHO 病院 57 施設の中における JCHO 久留米総合病院のプレゼンスを示すことが出来たのであれば幸いです。なお、当施設からは口演・Poster を含め他にも 7 演題の発表があり、全員が見事に無事発表されました。それぞれの会場では、建設的な質疑応答が為され参加者も多く活気のある学会でした。

JCHO 久留米総合病院として
初受賞しました！



副院長 / 医療安全管理責任者
亀井英樹

独立行政法人地域医療機能推進機構
理事長 山本修一

今回は、牛嶋院長と共に朝 8:00 の開会式から懇親会の夜 8:00 まで、気付けばあっという間に時間が経過していました(このように真面目に学会参加した記憶はありません)。開会式のインパクトのある津軽三味線演奏から始まり、Poster 掲示→口演発表→教育講演聴講→かえるチャレンジ発表→懇親会授賞式→職員との 2・3 次会と慌ただしくも楽しい一日を過ごしました。翌日は前日の疲れを癒させて頂きましたが、今回の学会参加を通じて感じるものが多数ありました。それは、他施設の方々が様々な創意工夫・努力を重ねて業務改善に日々努めていることです。われわれの施設も“もっと、もっと、モーツと頑張らなければいかん!”と思いました。



最後に、今回の研究発表にご協力頂きましたプレジデントチームの皆さん、お忙しい中インシデント報告を書いて頂いた医局の先生方・職員の方々に御礼申し上げます。なんとか、地区予選を勝ち抜き本選への出場機会を得ましたが、優勝旗は残念ながら持ち帰れませんでした。次回以降も JCHO 久留米総合病院のチームが最優秀賞を目指し、この企画に応募して頂きたいと思います。なぜなら、当院は各部署に優れた人材が存在しキラッと輝く取り組みが為されていますので、決して手の届かない賞ではないと思います。そして、多職種が参加する JCHO 学会は意外と面白いですので、一人でも多くの職員の方々に今後ご参加して頂きたいと思います。

第9回
JCHO地域医療総合医学会
The 9th Annual Meeting of Japan Community Healthcare Society in SENDAI

学術講演 川島 隆太
東北大学
地域医学研究科 教授

特別講演 川口 淳一郎
国立長崎大学医療センター
予防医学推進部長
東北大学大学院医学系
予防医学研究科 教授
国立新潟大学
地域医療推進部 部長
宇田科学館 館長 名誉教授

会長 村上 栄一
九州大学 名誉教授

2024年
11月29日(金)・30日(土)

会場 仙台国際センター
〒980-0855
宮城県仙台市青葉区百鬼田1番地

TEL 02-3445-5125 / FAX 02-3445-5110 E-mail info@jchs.or.jp
https://www.jchs.or.jp/



外来診療のご案内

■内科

【受付時間】 午前8:30～11:30 午後1:00～3:00

令和6年11月1日改正

診療科	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
呼吸器・感染症 内科	北里 裕彦 今岡 治樹 <small>(気管支喘息・COPD外来)</small>	今岡 治樹 <small>(禁煙外来のみ) (予約制)</small>	今岡 治樹		島松 文恵	北里 裕彦 <small>(禁煙外来のみ) (予約制)</small>	北里 裕彦 住田 咲子	北里 裕彦 <small>(専門外来のみ) (予約制)</small>	北里 裕彦 最所知佳	
腎臓 内科			玻座真 琢磨 南 浩	玻座真 琢磨 <small>(再診のみ)</small>			南 浩 <small>(再診予約のみ)</small>			
内分泌・代謝 ・糖尿病内科 (甲状腺)	原田 奈佳	吉信 聡子 <small>(再診のみ)</small>	吉信 聡子 原田 奈佳 <small>(再診のみ)</small>			吉信 聡子 <small>(再診のみ)</small> 副島 恵理 <small>(再診のみ)</small>	原田 奈佳 副島 恵理		光井 暁子 吉信 聡子	原田 奈佳 <small>(再診のみ)</small>
消化器 内科	松隈 則人 菅原 脩平		林 大樹 菅原 脩平		松隈 則人 佐々木 望		林 大樹 首藤 俊輝		首藤 俊輝	
循環器 内科	豊増 謙太 竹下 奈穂		阪上 暁子		豊増 謙太 間部 早央里	上松 章子 <small>(女性外来)</small>	間部 早央里 緒方 詔子	ペースメーカー外来 <small>(13:30～予約制)</small>	豊増 謙太 佐藤 宏美	

■外科

【受付時間】 午前8:30～11:00 ※乳腺外科受診の方は、新患・再診ともに予約をお願い致します。

一般 消化器外科	亀井 英樹		亀井 英樹 白水 和雄 秋吉 美来	※火曜は新患の 予約は受けつけ ておりません。 (再診のみ)	白水 和雄		亀井 英樹 藤崎 正寛		亀井 英樹 藤崎 正寛	
乳腺外科	田中 眞紀 山口 美樹 <small>(初診のみ)</small>		高尾 優子		田中 眞紀 <small>(初診のみ)</small> 山口 美樹 中村 彩乃 <small>(初診含む)</small>				高尾 優子 <small>(初診のみ)</small> 中村 彩乃	
化学療法室	藤崎 正寛 高尾 優子 秋吉 美来		三輪 啓介		藤崎 正寛 高尾 優子		横山 吾郎 山口 美樹		三輪 啓介	

11/1～ 外科 亀井英樹(月・木)再診も可

■形成外科

【受付時間】 午前8:30～11:00 ※形成外科の水曜午後は、第4水曜のみとなっております。

		初診の予約は 10:30以降に！	井上 要二郎	矢永 博子	第4水曜のみの外来	
--	--	---------------------	--------	-------	-----------	--

■整形外科

【受付時間】 午前8:30～11:00 ※野口幸志:足の外科・足のスポーツ外来 ※副島崇:ひざ・スポーツ専門

安藤 則行			野口 幸志 <small>(予約制)</small>	野口 幸志 <small>(予約制)</small>	安藤 則行		安藤 則行 <small>(再診のみ)</small>	樋口 富士男 <small>(毎月第1金曜日) (予約制14:00～)</small>
野口 幸志 <small>(予約制)</small>			西田 一輝 <small>(予約制)</small>		副島 崇 <small>(予約制)</small>			田中 順子 <small>(骨粗しょう症外来 毎月第1・3週 予約制)</small>

■産婦人科

【受付時間】 午前8:30～11:00 ※火曜受付時間は10:30まで

牛嶋 公生		園田 豪之介 <small>(再診のみ)</small>	園田 豪之介 <small>(再診のみ)</small>	牛嶋 公生	三嶋 すみれ <small>(新患のみ)</small>
園田 豪之介		三嶋 すみれ	三嶋 すみれ	園田 豪之介	伊波 勇裕 <small>(新患のみ)</small>
三嶋 すみれ		伊波 勇裕	伊波 勇裕	伊波 勇裕	

※現在、分娩の取り扱いを休止しております。※産婦人科受診の方は、新患・再診ともに予約をお願い致します。

■泌尿器科

【受付時間】 午前8:30～11:00

平野 泰嗣		平野 泰嗣	岩下 将仁 <small>(予約制)</small>	(受付10:30まで)	平野 泰嗣		平野 泰嗣 岸本 広 <small>(受付10:30まで)</small>
-------	--	-------	-------------------------------	-------------	-------	--	---

■麻酔科/ペインクリニック内科

【受付時間】 午前8:30～11:00 ※予約制 (月・水・金)午前のみ 担当医:杉山 和英

■眼科

【受付時間】 午後1:00～3:00 (月・金)午後のみ 担当医:久留米大学医師

■皮膚科

【受付時間】 午後1:00～3:00 (火)午後のみ 担当医:久留米大学医師

■放射線科(画像診断)

河野 れい	寺崎 洋	河野 れい	寺崎 洋	河野 れい	寺崎 洋	河野 れい	寺崎 洋	河野 れい	寺崎 洋
-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------

※他院からの紹介・検査依頼に基づいて画像診断を行いますので、患者さまからの直接のお申込はできません。

■放射線科(放射線治療) ※予約制 毎週月曜日(午前) 担当医:久留米大学医師

■総合診療科 【受付時間】 午前8:30～11:30 午後1:00～5:00 ※午後は再診の方は受けつけておりません。

菅原 脩平	豊増 謙太	南 浩	玻座真 琢磨 横田 祐之介	消化器内科 内分泌内科	今岡 治樹	北里 裕彦 住田 咲子	北里 裕彦	北里 裕彦 最所知佳	北里 裕彦 菅原 脩平 首藤 俊輝
-------	-------	-----	------------------	----------------	-------	----------------	-------	---------------	-------------------------

■女性総合診療科 (水曜午後) 【受付時間】 午前8:30～午後3:00 【診療時間】 午後1:30～4:00

※各診療科すべて、初めて受診される方も再来の方も事前のご予約が必要となります。

担当 佐々木 望(消化器内科)/亀尾 順子(内分泌内科)/上松 章子(内科)/守屋 普久子(泌尿器科)

※泌尿器科 第1水曜日は完全予約制ですので 受診希望の方は事前のご予約が必要となります。

現在、乳腺外科の外来は、担当医師が女性のみとなっておりますので通常外来で対応しております。

■救急科

月曜～金曜:当院担当医師

■精神科(リエゾン)

※予約制 毎週木曜日(午後) 担当医:千葉 比呂美 外部からの紹介は受け付けておりません。(当院患者さまのみ)

■腎センター (シャントトラブルの紹介は、前もって地域連携室へご連絡ください)

	月	火	水	木	金	土
腎センター外科	枝國 節雄	枝國 節雄		枝國 節雄	枝國 節雄	
血液透析	●	●	●	●	●	●
CAPD	●			●		



JCHO 久留米総合病院

Japan Community Healthcare Organization: JCHO

〒830-0013 福岡県久留米市櫛原町 21 番地

TEL: 0942-33-1211 FAX: 0942-32-0113 URL: <https://kurume.jcho.go.jp/>

令和 7 年 1 月発行 発行責任者: 院長 牛嶋 公生 編集: 広報委員会